

ストライキの町

前田河廣一郎

母 藤 村 孝 夫

半議團の職工が、三人がたで、ぼうを貼  
て歩いた。

糊を入やたバケツを風呂敷に包んで  
チよつと見たがけでは、何が入って  
解らなかつた。

眼付の敏捷な青年が、きよろきよろと  
に眼を配って合圖すると、一人が風呂敷  
の糊刷毛を取り出して、素早く電柱の  
しくのた。と、直ぐその上へ、他の一人が  
らを貼りつけた。

間のかい、素早さをたつた。  
そこへおたが、お湯屋の暖簾を  
出て来た。足音に驚いた三人が、不意に  
と蠅のやうに散った。

瞬間、おたがはきよ  
と蠅のやうに散った。

小冊

74